

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	事業所理念を煮詰めていけるよう、職員相互の研鑽の場を作り、利用者個々人の暮らしの在り方を支援していけるよう、取り組んでいきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	家族の方も漠然とした理解であると思われる為、機会をみつけては浸透できるよう努力していきたい。また、今後ホームの広報誌を作り、家族・地域問わず広く理解していただけるように努めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	ホームがオープンして1年未満な為、近所の方たちとのコミュニケーションをもっとたくさん持ちたいと考えている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	地域の方々と気軽に地域活動ができ、その中で、ホームの事を理解していただけるようにしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在のところ、当ホームの日常業務に精一杯の状態である。	○	今後、当ホームに求められているものがどのようなものか、自身で考えていくとともに、地域からの声も聞かせてもらい、取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	開設して初めての評価にて、理解不足ではあるが、今回全体で取り組んだことにより、今の振り返りを客観的に行え、また、今後の在り方について気付くよい機会となった。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヶ月に1回は確実に開催し、その中での意見や要望に関しては、サービス向上に生かせるようにしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	適宜、電話連絡を行い、また、必要に応じて、行き来する機会を設けている。また、関係作りの為に行事参加への呼び掛けもしている。	○	今後も、疑問点や困った点はもちろんのこと、良好な関係を維持していけるよう、つながりを深め、サービス向上に取り組んでいきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現時点では、学ぶ機会を持っていない。今後、必要性を考慮し、勉強する機会を持ちたい。	○	勉強する機会を持ちたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	運営者、管理者により、会議等を通じて、指導が行われているので、虐待防止の認識を持ちながら支援を行っている。	○	定例会議、各ユニットミーティングを活用し、専門的に学ぶ機会を設けていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には、十分に事業内容等、説明している。また、現時点においては、解約の経験なし。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの不満や、苦情がある時はゆっくり話を聞き納得いくように話をしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に、近況報告するようにしている。	○ 今後、ホームの広報誌を作り、近況をお知らせしていきたい。また、必要に応じ、ここに応じた報告も行っていく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱等の設置はあるものの、活用されていない。	○ 多く意見等を吸い上げ、また表記し、事業の運営推進に反映していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の定期会議にて、気付きや改善点などの意見交換を行っている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事等に職員が確保できるように勤務調整を行ったり、職員の勤務の要望に関しても、極力浴えるよう調整を行っている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今までに1名の離職者あり。その際は、馴染みのある管理者やユニット兼務職員を配置し、新規職員が配置された際も、ユニットリーダーが付添い、影響が最小限に抑えられるよう努めた。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修を定期的に受ける事ができるような体制がまだ整っていないのが現状である。	○	外部研修を交互に受けることができるような体制づくりと、ホーム内でのトレーニングも進めていきたい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	ホーム行事への招待、案内を出し、交流を行っている。その際、情報交換を行い、勉強している。	○	交流が密になるよう、ネットワーク作りに努め、また、他ホームの見学なども出向いていきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	運営者は定期的にホームへ出向き、職員とよく話した職員の変化についてはよく観察するように努めている。	○	職員間での意見交換や情報交換の場も定期的に持ち、ストレス軽減に努めていきたい。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	ホーム行事への招待、案内を出し、交流を行っている。その際、情報交換を行い、勉強している。	○	努力や実績や勤務状況についてはよく把握するように努めていきたい。資格取得についても、励行していきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	相談があった時点で十分に話を聞き、受け止めていけるように努力をしている。		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入居前に出来る限り、ご本人、家族に見学に来て頂き、その時に状況をききながら、話をゆっくり聞ける時間を設けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要としている支援を充分に見極め、ホームでできる支援はさせていただいている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1日の始まりは笑顔であいさつし、健康状態を確認しながら、楽しい会話でコミュニケーションを図り、雰囲気や和んだ頃、身体体操で体を解かした後、レクリエーションで楽しく過ごしている。	○	レクリエーションについては、利用者の方々の希望を取り入れながら今以上に内容を充実させたい。また、医師の指示を仰ぎ、また、ご家族と連携しながら利用者の方々一人ひとりに合わせたリハビリを実施したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念の下、利用者様の人格を尊敬の心で接するように努め、人生の先輩でもある、利用者から共同作業や会話を通し、色々な事を学んでいる。	○	利用者・家族にお願いし、アルバムを提供してもらい、想い出話しで和んでいただきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に、家族と連携を図り、利用者の精神面、体調の変化については状況を報告し、家族、利用者の希望に沿った話し合いを実施している。	○	家族が気楽に面会しやすい環境作りを心掛け、整えて、頻りに面会していただけるように努めたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的に施設行事を開催し、家族にも参加していただき、家族団らんの間を提供と、家族同士、職員との交流を実施している。	○	毎月、広報誌を発行し、ホームの行事予定、利用者の情報を家族へお知らせしたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	仲の良い利用者同士、楽しく会話されている時は雰囲気作りに努め、特定の場所で楽しまれている時は、その場の雰囲気を阻害しないように遠くから見守り支援を実施している。	○	今後は、利用者の方々と交流していただけるような雰囲気作り、場の提供に努めたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者全員で参加できるレクリエーション、ゲームをはじめ、各利用者に合わせた個別のレクリエーションも考え、工夫し、実施している。利用者の身体状況、体調、気分により参加されない利用者もいる。	○	利用者全員でできるレクリエーションと個別レクリエーションゲーム等を充実させたい。また、リハビリを視野に入れたレクリエーションを検討したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現時点において発生していない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	なるべく、家庭の延長線のような生活環境になるよう、努めている。	○	利用者個別に話し、希望、意向を今まで以上に取り入れられるよう、検討していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報、利用者との会話により、経過状況の把握に努めている。	○	情報の少ない利用者の方は、家族の面会時に話を聞き、これまでの生活歴などの情報収集に取り組んでいきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者との共同作業や会話を通し、コミュニケーションを図りながら、職員間で意見交換しながら状況把握に努めている。	○	職員間での話し合いの場を増やし、利用者がよりよい生活を送っていただけるように努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、スタッフで話し合いを行い、利用者や家族の意向などを取り入れて計画を作成している。	○	利用者本位の計画となっているかの振り返りを常に意識していくとともに、サービス担当者会議も家族参加を積極的に呼びかけ、意向を吸い上げ、計画に反映していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の書面上の書き換えは、遅れている状況。但し、状況の変化に応じて担当者で話し合い、計画の追加・変更を随時行っている。	○	随時、計画の見直しを行い、書面に落とし込み、関わる者全員の共通理解を深めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の業務日誌、経過記録の確認と、気付いた事は申し送り等に記入し情報を共有している。	○	ユニットミーティングをこまめに行い、意見交換しながら今後の介護計画に生かしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	行事毎に地域住民の皆様に参加していただき、開けたホームを目指し、職員一同努力しています。	○	地域で行われる行事等について、利用者が参加できないかを検討し、より多く外部との交流を図りたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現状としては、意向等はない為、実施なし。	○	そのような場合は、柔軟に考え、必要な資源に支援を求め、利用者の意向に沿えるようにしていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところ、特に行っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議においては包括支援センターからも参加をいただいている。 また、地域における情報など、常に連絡を取りあいながら、協働している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医での継続可能であるも、利用者、家族希望により、当法人の医療機関へ変更している。定期的に医師、看護師が往診している。また、体調不良、異変があった際は、速やかに連携し、対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日頃から、利用者の行動、状態の変化を観察している。異変があれば、かかりつけ医に症状を報告し、指示を仰いでいる。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師は定期的(週2回)に来設あり。利用者の状態と体調変化について話し合い、連携を取っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院、病院関係者との情報交換は、管理者に一任している。利用者が退院前には、状況把握をした上で迎え入れる体制をとっている。	○	利用者が退院される前、ユニットミーティングを行い、その支援方法を話し合う体制を作りたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今のところ、終末期に当たる利用者はいない。状態の変化については、その都度、家族に状況報告し、対応手段などの説明は行っている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在のところ対象となる方はいないが、今後のことを考えて取り組みたい。	○	チームとしてのあり方を職員や関わる者で学ぶ機会と、少しずつ今後の変化にそなえての準備やマニュアル作成などを計画していきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新たに來られた利用者には馴染んでいただけるよう、職員一同話し合い、情報共有し、和やかな雰囲気作りに心掛けダメージの予防に努めたい。	○	新たに利用者が入居されるまでには、利用者に係る、全ての情報を職員全員が把握した上で受け入れたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念の下、人格を尊重し、尊敬の心で接している。プライバシー、記録等の個人情報外部へ漏洩しないよう職員一同徹底し、保護している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常にコミュニケーションを図り、自由に会話できる雰囲気作りを心掛けている。利用者が希望される時は、話し合い、納得合意の上で、料理の手伝い、皿洗い、その他の手作業を見守りながら共同作業をしている。	○ 職員間で格差がないように、1日1日の活動内容、レクリエーション等を具体的に記載し、実施する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせた支援は実施しているが、十分ではない。要介護度の違いや、利用者のその日の体調でグループレクリエーションに参加されない利用者もいる。	○ レクリエーション等の計画案を多数考案し、提供したい。また、自力でトイレへ移動できない利用者様には各食事前のトイレ誘導は全職員で徹底して実施する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替えの際には、なるべく自分で洋服を選んでもらい、困難な方は一緒に選んだりする。理美容に関しては、望むところがある際は、家族へ協力依頼している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いがなく、バランスの取れたメニューを考えながら、小さく刻んだり、好みに応じた食事作りをしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲食等の希望については、利用者様一人ひとりの健康、体調管理を視野に入れ楽しい食事ができるよう支援している。	○ お菓子、毎食事ごとの量を工夫し、急激な体重の増加は避けたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	人それぞれの排泄記録を取り、時間を見ながら声かけを行い、誘導している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	バイタルチェックとその日の体調を見て、ゆっくりと入浴を楽しんでもらえるよう、配慮している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	バイタルチェックと体調を見ながら声かけなどを行い、早めに休んでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きな民謡、童謡を歌ったり、色紙裁縫などで色々物作りをしたのを飾ったりして、やる気が出るよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が一時預かりとして金庫に保管し、必要に応じて職員が購入したり、一緒に買ってくるよう努めている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一緒に買い物やドライブに出かけ、気分転換を行う。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠足、ドライブなど行事を作り、家族との親交を深めている。本人の希望により、家族と外出していただく。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話は希望時に、コードレス電話を使用し、職員見守りの下、ホールや居室どこでも話ができるよう、配慮している。	○	定期的に利用者様全員で家族や友人に手紙を書く時間を作れるようにしたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	日中、ホームの門を開けており、気軽に訪問できる環境を作れるよう、努力している。ホーム内においては、ホールや居室、好きな場所で話ができるような環境作りをしています。	○	ホームにおいて、家族や友人だけでなく、地域の方も気軽に参加できるような、イベントを開催していきたいです。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束はしていない。例えば、歩きまわる利用者様には職員が付添い気の済むまで歩いていただくよう配慮している。	○	これからも、身体拘束だけでなく、精神面でも利用者様を拘束しないよう、職員一人ひとりが利用者様の特徴を理解するよう、努力していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門を含め、ホーム内においても、原則として鍵をかけないようにしているが、利用者様の帰宅願望などの落ち着かないときなど、状況に合わせて一部鍵をかける場合もある。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を問わず、ホールには必ず一人職員がいるようにしている。その際、残りの職員は、状況に合わせて、不穏な利用者様の対応をするよう、配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など、身体に傷をつけるような物は職員管理で触れないようにしている。利用者様の裁縫道具なども職員が預かり希望により、渡すようにしている。使用中には、職員が見守っている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止の為、夜間はベッドの下にマットを敷くなど、利用者様一人ひとりに合わせ、事故防止に取り組んでいる。	○	定期的に事故防止に向けた勉強会を計画し、必要な知識を身につけていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	AEDを備え、緊急時に職員全員使えるよう訓練を行っている。	○	全職員が、応急手当ができるように知識・技術の習得のための勉強会や実技を計画していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の連絡手段や、すぐに避難できるように避難訓練を行い(現在、開設時から1回のみ)、安全確保に努めているが、不十分である。	○	地区の消防団との協力体制づくりを行っていく。また災害に備えての備蓄も考え、少しずつ物品の準備をしていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	現在行っている対応について説明し理解を頂いている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	湿疹や普段と違う行動の変化など、すぐ気付けるよう細心の注意を払い、異変を見つけた場合、管理者に報告を行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の薬剤情報をまとめたファイルを事務所に置いており、不明な点があれば、すぐに確認できるようにしている。また、病院との連携をはかり、ドクターの指示とおりに内服できるよう支援している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックを毎日つけ観察し、利用者に応じて内服等の調整を行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行い、自身で不十分なところは支援している。夜間は、義歯洗浄剤につけるなど実施している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた分量の下限をし、咀嚼能力に応じ、刻み食、おかゆ、ミキサー食等、利用者個人・その時の状態に応じ支援している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	面会の方のマスクの着用、手指の消毒の実施等。調理前の手の洗淨、アルコールによる消毒。疥癬においては、毎日の入浴の実施など。おしぼり等の殺菌消毒。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食事摂取2時間以内の調理を徹底。 ・賞味期限は厳守。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	正面の門扉は、夜間以外は開放している。観葉植物や花などを飾り、明るい雰囲気作りをしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、台所には、天窓があり、常に明るく、適温と温度管理を行っている。台所も利用者と共同で利用できるよう開放的で、安全面も徹底している。その他の共用空間も同様である。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・各居室の空調設備が整っている全員で過ごせるホール、和やかに過ごせる日当たりのよいダイニングもソファを置き、ゆったり過ごせるようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の希望により、寝具、家具など使い慣れたものは、各居室にて使用していただいている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	共用の場所、各居室、浴室の脱衣場等、全て空調設備、換気扇を設置している。空気の乾燥を防ぐため、加湿器等を使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その人それぞれの行動範囲に応じ、座りやすい場所動きやすい場所を提供している。また、通路となるところには障害物を置かないようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者にも、洗濯、片付け、調理の手伝い等、できる事はしていただけるような環境作り、雰囲気作りをしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日にシートを敷き、外でひなたぼっこをするなど、外周を活用している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)